

# ヒョウダニの居ない家はどんな家？

## 床と畳は？

ダニの生活できない家とはどんな家でしょうか。まず第一に、無垢の木の家、合板を使っていない家です。

無垢の床材で畳の下も無垢の木で、その上に畳が敷かれていることです。

無垢の木には「フィトンシッド」という働きがあるからです。

畳が古くなったから取替えようとか、ダニがついたから新しい畳に

しようという話をよく聞きますが、新しい畳の方が、ダニの食物が

豊富ですから、じつはダニが住みやすいのです。

カーペットは特によいダニの住処となります。

### フィトンシッドとは

Phyton(植物)、cid(殺し屋)、つまり樹木からの自然に蒸発する揮発性物質(テルペン類)のことです。

これに防虫殺菌防腐効果があることは良く知られています。

そのうえ鎮静作用をもつ芳香があるので、森林浴などと呼ばれています。

## 乾燥が決め手

チリダニ類は60℃以上の高温では、約1時間で死滅するといわれています。

しかしヒョウダニがついていて、60℃以上の高温にできるものは、そんなにたくさんありません。

しかし湿度に弱点があります。ヒョウダニは相対湿度60%以下では長く生きてはいられません。

## 換気が基本的条件

屋内湿度の調整を主体とした、換気・冷暖房はなんといってもダニの駆除の基本です。

それでもダニは住みつきます。しかも年中、家の中の隅々まで理想的な湿度を保つことは難しいことです。

# 住みついたヒョウダニの駆除は？

どんなに努力しても、ヒョウダニがまったく居ない家にすむことは至難の技です。たとえ新築の家でもヒョウダニは住んでいます。むしろ新築したり、畳替えをした家のほうがたくさん居ることもあります。

### 洗濯

洗えるものはまず洗濯、そして十分な乾燥が必要です。

### 掃除

掃除はヒョウダニ駆除のスタートです。しかし、ただ簡単に掃除機や畳やカーペットの上をなでるようなやり方では、ヒョウダニはとれません。あちらこちらから一平方メートル四方を最低1~3分しっかり吸い取りましょう。

### ダニに餌を与えない

ヒョウダニの好物は人やペットの「ふけ」です。そしてカビも主要な食事です。合板やコンクリートの上に畳を敷き、その上にカーペットを敷いて、夏は素足で座卓を置いて、冬なら炬燵。そこで食事やお菓子を食べて、テレビ見ながら猫とゴロ寝。冷暖房をかけて窓は閉め切りとなれば、これはダニの天国です。

### 寝具

寝具の扱いはヒョウダニ駆除の最大テーマです。次の頁に改めて述べます。

# 寝具のヒョウダニを駆除するには

## 洗えるものはこまめに洗う

寝巻き、枕カバー、毛布やタオルケット、シーツなど洗濯のできるものは、こまめに洗いましょう。枕カバーの代わりにバスタオルなどで枕を包めば、毎日でも取替えられます。クリーニングから戻ってきて袋に入っている衣類や寝具も、使う前には陽に干す必要があります。防虫剤などの化学物質を揮発させる意味もあるからです。

## 普通の天日干の効果は？

常に行われるのは寝具を陽に干すことですが、このとき陽のあたる側は十分に効果があります。しかし中心部や陽のあたらない側にも配慮してください。要は卵の目玉焼きと同じです。陽のあたる側がフライパンになるわけで、反対側はそれほど焼けません。また羽毛布団は厚みによって羽毛が変質することがあるので、直射日光に干せません。ヒョウダニが死滅する温度の60℃は、お湯なら手を入れていられない程の高温です。炎天下の車の屋根にでも干せばともかく、外気温30℃以上の夏の直射日光に干してもたんで干した毛布の内部は30℃~34℃、日陰面は30℃前後にしかありません。ヒョウダニは毛布の日陰側や中心部にもぐりこんで涼しい顔をしています。布団の上に黒い布やビニールをかける方法は、温度を高くするのが目的のように思われます。しかし布団全体が60℃以上になるでしょうか。ぴったりビニールをかけたら、かえって湿度が下がりにくく、湿気を含んで逆効果のように思われます。ヒョウダニ駆除の決め手は加熱よりも乾燥です。

## 枕や布団の内部に潜る事ができる

高密度織物の布団カバーやシーツはダニを通過させないのでかなり有効ですが、カバーやシーツに包まれた布団や枕の中身にはダニがいます。

## 取り入れる前によくたたく

陽に干してから取り入れる前にはよく叩いたり、回転ブラシ付きの布団用掃除機を1平方メートルあたり3分以上しっかりかけましょう。ダニは死んでも死骸や糞、卵の細塵化したものがアレルギーとなるからです。

## ベッドメイキングのときには必ず換気

布団を敷いたり、ベッドメイキングするときに空気中に舞上がる室内塵に対しても、注意を怠ってはなりません。窓やドアを完全に開放して作業し、終わってから十分に換気してください。布団やベッドの上でばたばた遊んだり、寝室で着替えをしないようにしましょう。